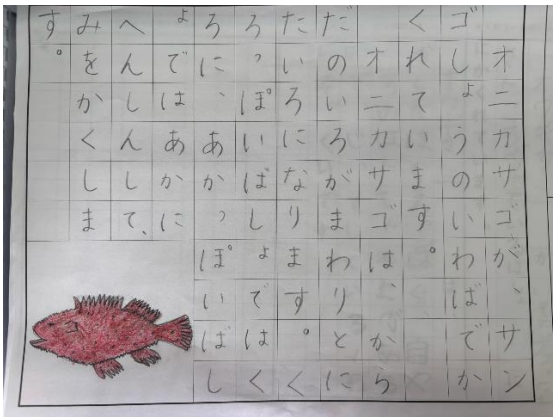


1年 「うみのかくれんぼ」～「習得」編～

1年生「うみのかくれんぼ」では、文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力をつけることをめあてに学習を計画しました。単元のゴールとなる言語活動は、「自分がすごいと思った生き物のかくれ方を紹介すること」です。習得場面や活用場面では、文章中の「問い」である「何が」「どのように」かくれているのかに注目しながら学習を進めました。

単元の導入場面では、ゴールの言語活動となる「生き物のかくれ方を紹介する」を先生が作成し、子どもたちに提示しました。子どもたちからは「すごーい！」「面白い」などの声があがり、単元への意欲を高めることにつながりました。さらに、大きく拡大した海の画像を提示し、「どんな生き物が、どこで、どんなかくれ方をしているのかな？」と予想させる場面を設定しました。子どもたちからは、知っている生き物についての発言が次々に出され、これからの学習の見通しをもつとともに、学習への意欲をさらに深めることができました。



さらに、3つの生き物のかくれ方の書かれ方を比較する活動にも取り組みました。この場面では、書かれている内容によって本文を色分けして提示しました。そうすることで、それぞれの書かれ方に共通性があることに気づくことができました。さらに、「同じ順番で書かれているとどんな気持ちになりますか？」と問うことで、書き方の効果について考えることもできました。

ここまでが習得場面です。習得場面の中ごろからは平行読書を開始し、それぞれに図鑑を読み進めながら、印象的なかくれ方をする生き物について考えを持ち始めています。この学びを生かしながら、今後は自分が選んだ生き物について紹介する活動へとつなげていきます。

